

WO 2004/107211 A1



(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

— 国際調査報告書

(57) 要約: 日本語か中国語かに係わらず同形字であれば、ジャンプすることができる電子辞書を提供する。表示装置に表示された文字の中から任意の漢字を選択指定する選択手段と、日本語または中国語に同形の漢字があるかどうかを照合するための照合手段を備え、選択手段により選択された漢字が日本語および中国語のいずれの言語の漢字であるかに係わらず、照合手段によりもう一方の言語に同形の漢字があると判断された場合は、その同形漢字を有する両言語の見出し語の内容を表示する。

明 細 書

電子辞書

5 技術分野

本発明は、ある単語に対応するその訳とその単語に関連する内容を表示する装置であり、少なくとも日本語辞書と中国語辞書を収録した電子辞書に関するものである。

10 背景技術

従来より、複数種類の辞書を有する電子辞書においては、ある1種類の辞書により単語検索して表示された訳語や例文等の文字列の中から、さらに調べたい単語を使用者が任意に選択指定し、同種類かあるいは他の種類の辞書を選択指定して単語検索できるという、いわゆるジャンプ機能を備えているものがある。たとえば、国語辞典を使用して単語検索した結果の訳の文字列から選択された単語が日本語だった場合には国語辞典、和英辞典または漢字字典などにジャンプし、選択された単語が英語であった場合には、英和辞典、英英辞典などにジャンプすることができる。(例えば、特開平11-184854号公報(第7図)参照)。

- 15 上記従来電子辞書では、ジャンプする際、選択した単語が日本語か英語かを判定し、日本語であれば、国語辞書、和英辞書などから、選択された単語と同一の文字コードを持つ見出し語およびこの単語に対応する訳の内容を画面上に表示していた。従って中国語辞書データが中国語漢字独特の文字コードで入力されている場合、たとえ日本語、中国語の両言語において同一形状
- 25 の文字があったとしても、お互い異なる文字コードを持つため、異なる文字とみなされジャンプすることができない。

発明の開示

上記目的を達成するために、この発明の電子辞書は、見出し語に対応して情報を有する辞書データとして少なくとも日本語辞書および中国語辞書を有し、前記辞書データを表示する表示装置と、前記表示装置に表示された前記辞書データの中から任意の文字を選択指定する選択手段と、前記選択手段により選択された文字に対応する前記見出し語を複数の前記辞書データの中から検索し前記表示装置に表示するジャンプ機能とを具備する電子辞書であって、前記ジャンプ機能は、さらに日本語または中国語に同形の漢字があるかどうかを照合するための照合手段を備え、前記表示装置に表示された前記辞書データの文字の中から前記選択手段により選択された漢字が日本語および中国語のいずれの言語の漢字であるかに係わらず、前記照合手段により、もう一方の言語に同形の漢字があると判断された場合は、該同形の漢字を有する両言語の見出し語の内容を前記表示装置に表示できる機能を有することを特徴とするものである。

さらに、この発明の電子辞書は、前記表示装置に表示された前記辞書データの日本語または中国語の漢字を前記選択手段により選択した際、前記ジャンプ機能は、選択された前記漢字とは一部が異形で、かつ同意味を有するもう一方の言語の漢字とその訳の内容を前記表示装置に表示する機能を有することを特徴とするものである。

20 図面の簡単な説明

図1は本発明の電子辞書の構成を示すブロック図である。

図2は本発明の電子辞書の外観を示す正面図である。

図3は本発明の電子辞書における日本語中国語比較テーブルの内容の一部を示す図である。

25 図4は本発明の電子辞書における表示装置に表示される内容を示す図である。

図5は本発明の電子辞書における表示装置に表示される内容を示す図である。

図6は本発明の電子辞書における表示装置に表示される内容を示す図であ

る。

図7は本発明の電子辞書における表示装置に表示される内容を示す図である。

図8は本発明の電子辞書における表示装置に表示される内容を示す図である。

図9は本発明の電子辞書における表示装置に表示される内容を示す図である。

図10は本発明の電子辞書の操作と動作を説明する流れ図である。

10 発明を実施するための最良の形態

以下に、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

図1は、この発明の実施例の構成を示すブロック図である。図2はこの発明の実施例の外観を示す平面図である。

図1において入力手段11は図2の文字入力キー26、日本語辞書キー21、
15 中国語辞書キー22を含む。入力手段11は、中央処理装置(以後CPUと言う)12に接続され、文字入力キー26からの信号はCPU12に接続するメモリ(以後RAM)13に一時記憶される。CPU12にはさらにリードオンリーメモリ(以後ROMと言う)14が接続され、このROM14には辞書の内容、例えば、
20 CPU 12には表示装置16が接続され、文字入力キー26から入力された文字、すなわち一時RAM13に記憶された内容が表示装置16の画面上に表示される。

この表示された画面において選択手段17を操作することによって単語の訳が表示される。選択手段17はジャンプキー23、スクロールキー24、決定キー
25 25を含む。日本語中国語比較テーブル15は、図3に示すように日本語および中国語の漢字において同一形状の漢字がある場合について、その2つの言語の文字コードを一对一に対応付けたものであり、選択手段17により選択された単語のコードがこの日本語中国語比較テーブル15と照合され、選択された単語のコードが日本語中国語比較テーブル15内に存在する場合は、その単

語コードに対応する文字コードを持つ選択された単語の言語とは別のもう一方の言語の漢字を同一形状の漢字であると判断する照合手段を介して、選択された単語および他言語における同一形状の単語を一覧表示し、選択、決定することによって、その単語に対応する訳の内容を表示することができる。

- 5 次に、この発明の動作をステップごとに表示装置16に表示される図4から図9までの表示画面および図10の流れ図を用いて説明する。なお、文中の括弧内の数字は図10の各ステップの数字を表す。図10の流れ図においては、使用者による操作を実線枠で示し、電子辞書本体内での処理を破線枠で示してある。
- 10 図4は日本語辞書キー21の操作により日本語辞書のうちの1種類である国語辞典を選択した状態(ステップ S 1001)であり、検索したい単語をカーソル41の位置から入力できることを示している。この動作を図1のブロック図で説明すると、入力手段11の操作によりCPU12が日本語辞書を選択し、表示装置16に日本語辞書モードの初期画面が表示されるということになる。ここで、
- 15 文字入力キー26を使って、例えば、「I」「S」「I」とローマ字入力する(ステップ S 1002)と図5の状態になる。

- この図5は図1の文字入力キー26の操作により入力された、「いし」51が表示装置16に表示され、更に、この入力に相当する見出し語の一覧52と、先頭の見出し語の訳の一部53が表示されたことを示している。この見出し語一
- 20 覧の先頭に表示されている「いし」の訳を見るために決定キー25を押す(ステップ S 1003)と図6のように見出し61の「いし【石】」及びこれの訳の内容62が表示される(ステップ S1004)。この動作を図1のブロック図で説明すると、選択された単語がROM14に記憶されている単語と一致して見出しが表示され、同時にこの見出しに相当する訳語がROM14から取り出され、表示装置1
- 25 6に表示されるということになる。

- 次に訳画面中に含まれる単語63、例えば「砂」をさらに検索したいときについて説明する。まず、ジャンプキー23を押す(ステップ S 1005)と訳中の最初の単語が、点滅、反転などにより他の単語と区別される。これをスクロールキー24により希望の単語まで移動する(ステップ S 1006)と図7に示すように、
- 30 移動後の単語71「砂」が区別された状態になる。そして、図7の状態で決定キ

—25を押すと、単語「砂」が、中国語にも存在するかどうかを図3に示す日本語中国語比較テーブル15を介して照合する(ステップS1007)。この例では、図3において破線枠内に示した日本語文字コード0x8DBBと中国語文字コード0x4930が同形漢字の「砂」の文字コードとして1対1で対応して存在する。

- 5 従って、図8に示すように、ジャンプした単語81の[砂【さ】]、同形中国語漢字82の[砂【sha】](※図面上ではaの文字上に「」が付いていますが、文書中ではaと記載)、などの一覧が表示される(ステップS1008)。

- この「砂」について、さらに訳が見たいとき、例えば、中国語辞書の見出し語として存在する[砂【sha】]の訳が見たいときはスクロールキー24により[砂
- 10 【sha】]を選択した状態(ステップS1009)で決定キー25を押すと、図9に示すように[砂【sha】]を見出し91とし、その訳の内容92が表示される(ステップS1004)。

- 上記の実施例では、日本語の漢字と中国語の漢字とが同形である場合についてのジャンプ機能について説明したが、日本語中国語比較テーブル15に日
- 15 本語と中国語とで互いに一部の形が異なっていて、かつ同じ意味をもつ漢字のそれぞれの文字コードを1対1で対応させて設定登録することも可能である。この日本語中国語比較テーブル15への設定登録により、一部異形で同意味の漢字同志間でのジャンプ機能を実現できる。

- 例えば、日本語の漢字を構成している一部である「へん」や「つくり」などの部
- 20 首の形が中国語の漢字の部首の形とわずかながら異なっていて、しかし意味は同じという文字が多数存在する。このような一部異形で同意味の漢字同志をジャンプ機能で検索可能とすることにより、本発明の電子辞書の利用者は、互いに同じ意味を持つ日本語の漢字と中国語の漢字とのわずかな形の違いを、容易に学習することができる。

- 25 以上、見出し語の訳画面からジャンプする場合について述べたが、これに限らず、例文、慣用句などを表示する画面からもジャンプすることができる。さらに、国語辞書モードだけでなく、中国語辞書または漢字辞書などの辞書からもジャンプして上述の動作を行うことができる。

産業上の利用可能性

本発明は、使用者が任意の漢字を選択し、その漢字が日本語であるか、中国語であるかに係わらず、その漢字を使用した見出し語の訳を表示することができる。このジャンプ機能を用いることで、使用者は両言語間における同形漢字の有無や意味の違いなどの情報を得ることができ、また、電子辞書では難しい、中国語漢字の検索を、まず、日本語漢字を検索し、その漢字から中国語辞書にジャンプすることで容易に行えることができる。

請 求 の 範 囲

1. 見出し語に対応して情報を有する辞書データとして日本語辞書と中国語辞書を有し、前記辞書データを表示する表示装置と、前記表示装置に表示された前記辞書データの中から任意の文字を選択指定する選択手段と、前記選択手段により選択された文字に対応する前記見出し語を複数の前記辞書データの中から検索し前記表示装置に表示するジャンプ機能とを具備する電子辞書において、

- 前記ジャンプ機能は、日本語または中国語に同形の漢字があるかどうかを照合するための照合手段を備え、前記表示装置に表示された前記辞書データの文字の中から前記選択手段により選択された漢字が日本語および中国語のいずれの言語の漢字であるかに係わらず、前記照合手段により、もう一方の言語に同形の漢字があると判断された場合、前記表示装置は該同形の漢字を有する両言語の見出し語の内容を表示する機能を有することを特徴とする電子辞書。

2. 前記表示装置に表示された前記辞書データの日本語または中国語の漢字を前記選択手段により選択した際、前記ジャンプ機能は、選択された前記漢字とは一部が異形で、かつ同意味を有するもう一方の言語の漢字とその訳の内容を前記表示装置に表示する機能を有することを特徴とする請求項1に記載の電子辞書。

図 1

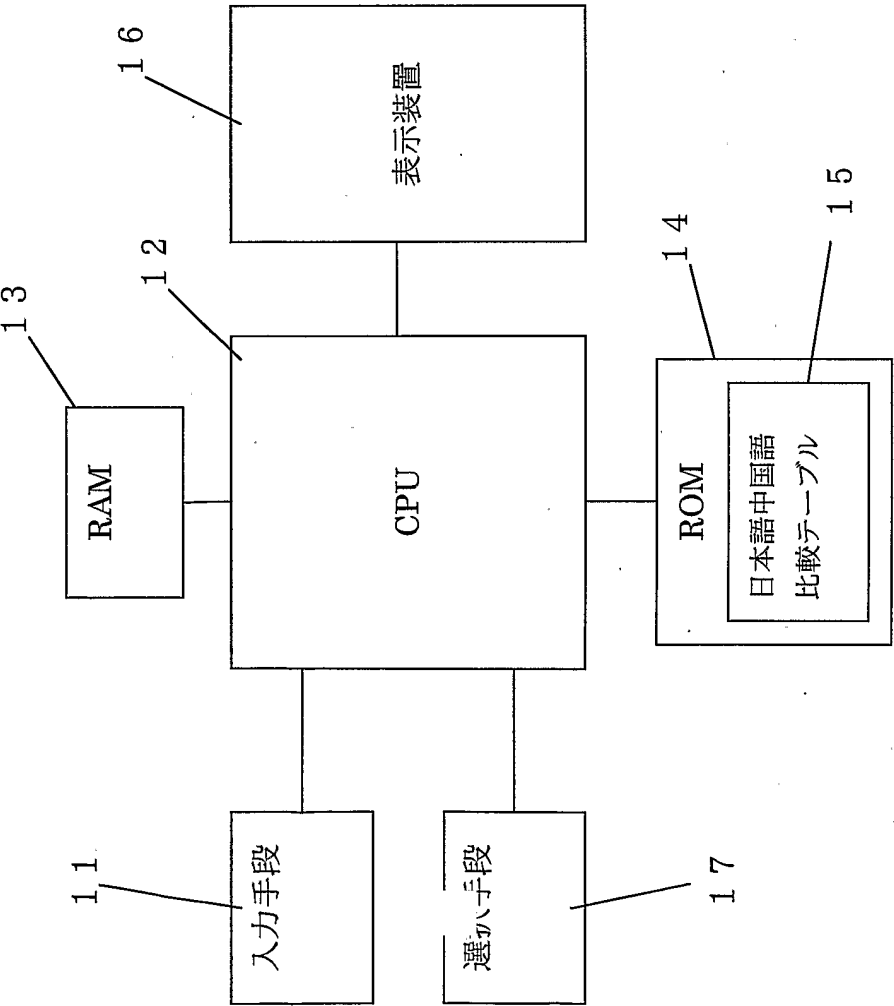


図 2

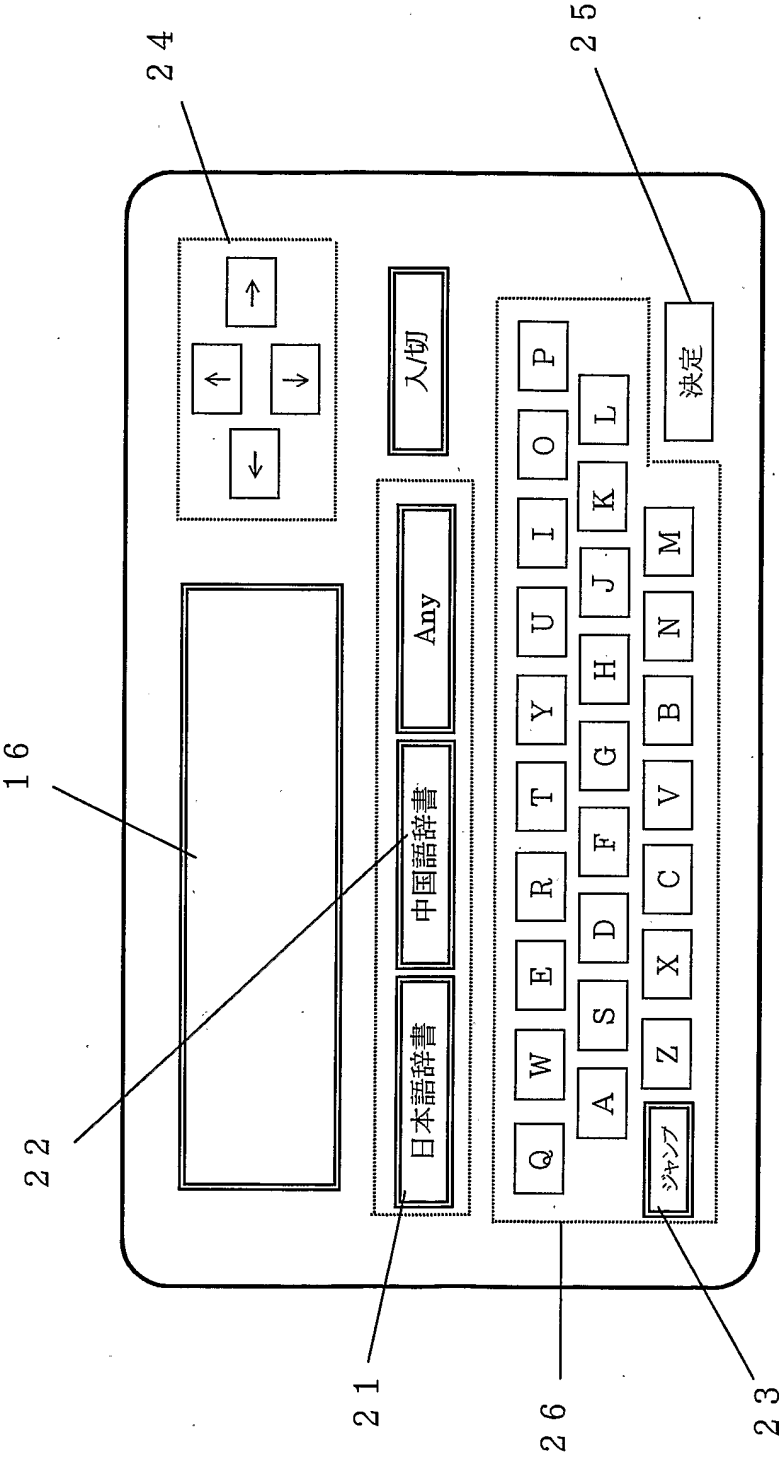


図 3

15

日本語文字コード	中国語文字コード
0x8140	0x2121
0x8141	0x2122
0x8142	0x2123
0x8145	0x2124
0x814E	0x2127
0x8156	0x2128
.	.
.	.
0x8DBB	0x4930
.	.

「砂」の文字コード

図 4

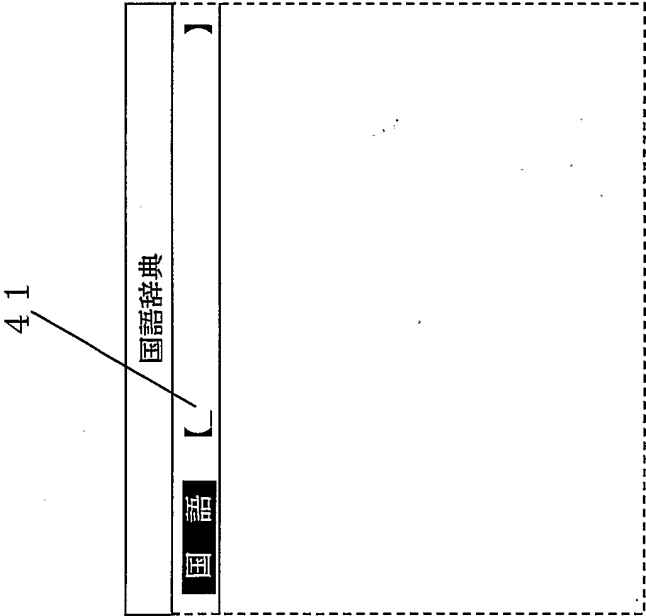


図 5

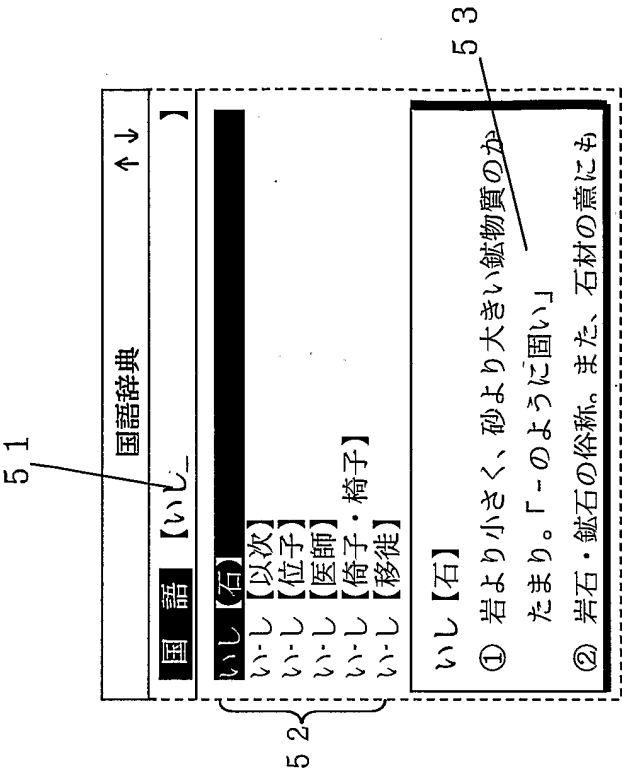


図 6

6 1

6 3

国語辞典

↑ ↓

いし【石】

① 石より小さく、砂より大きい鉱物質のかたまり。「-のよう

② 岩石・鉱石の俗称。また、石材の意にも用いる。「-の地蔵」

③ 宝石、または特定の鉱物加工品。時計の軸受に使う宝石、ライターの発火合金、碁石、硯、墓石など。

④ 石御器(いしごき)の略。浄、妹背山婦女庭訓「此の-できゆつとやらんせ」

⑤ 胆石。結石。

⑥ (じゃんけんで)にぎりこぶし。ぐう。

⑦ 方形の敷石の配置をかたどった紋所の名。

6 2

6 2

図 7

7 1	<table><tr><th data-bbox="579 365 632 978">国語辞典</th><th data-bbox="632 365 1102 978">↑ ↓</th></tr><tr><td colspan="2" data-bbox="632 365 667 978">いし【石】</td></tr><tr><td data-bbox="667 365 719 978">① 石より小さく、砂より大きい鉱物質のかたまり。「-のよう</td><td data-bbox="719 365 754 978">に固い」</td></tr><tr><td data-bbox="754 365 807 978">② 岩石・鉱石の俗称。また、石材の意にも用いる。「-の地蔵」</td><td data-bbox="807 365 842 978"></td></tr><tr><td data-bbox="842 365 895 978">③ 宝石、または特定の鉱物加工品。時計の軸受に使う宝石、ライターの発火合金、碁石、硯、墓石など。</td><td data-bbox="895 365 930 978"></td></tr><tr><td data-bbox="930 365 983 978">④ 石御器(いしごき)の略。浄、妹背山婦女庭訓「此の-できゆつとやらんせ」</td><td data-bbox="983 365 1018 978"></td></tr><tr><td data-bbox="1018 365 1053 978">⑤ 胆石。結石。</td><td data-bbox="1053 365 1088 978"></td></tr><tr><td data-bbox="1088 365 1123 978">⑥ (じゃんけんで)にぎりこぶし。ぐう。</td><td data-bbox="1123 365 1158 978"></td></tr><tr><td data-bbox="1158 365 1193 978">⑦ 方形の敷石の配置をかたどった紋所の名。</td><td data-bbox="1193 365 1228 978"></td></tr></table>	国語辞典	↑ ↓	いし【石】		① 石より小さく、砂より大きい鉱物質のかたまり。「-のよう	に固い」	② 岩石・鉱石の俗称。また、石材の意にも用いる。「-の地蔵」		③ 宝石、または特定の鉱物加工品。時計の軸受に使う宝石、ライターの発火合金、碁石、硯、墓石など。		④ 石御器(いしごき)の略。浄、妹背山婦女庭訓「此の-できゆつとやらんせ」		⑤ 胆石。結石。		⑥ (じゃんけんで)にぎりこぶし。ぐう。		⑦ 方形の敷石の配置をかたどった紋所の名。	
国語辞典	↑ ↓																		
いし【石】																			
① 石より小さく、砂より大きい鉱物質のかたまり。「-のよう	に固い」																		
② 岩石・鉱石の俗称。また、石材の意にも用いる。「-の地蔵」																			
③ 宝石、または特定の鉱物加工品。時計の軸受に使う宝石、ライターの発火合金、碁石、硯、墓石など。																			
④ 石御器(いしごき)の略。浄、妹背山婦女庭訓「此の-できゆつとやらんせ」																			
⑤ 胆石。結石。																			
⑥ (じゃんけんで)にぎりこぶし。ぐう。																			
⑦ 方形の敷石の配置をかたどった紋所の名。																			

図 8

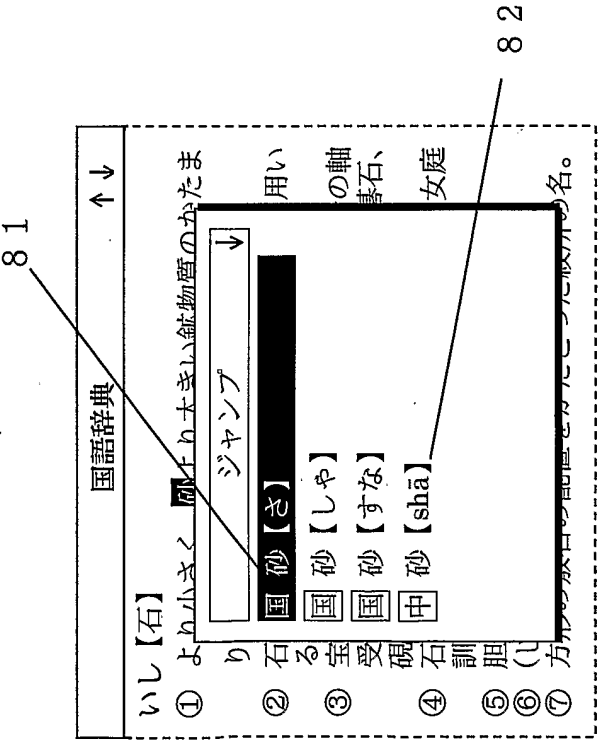


図 9

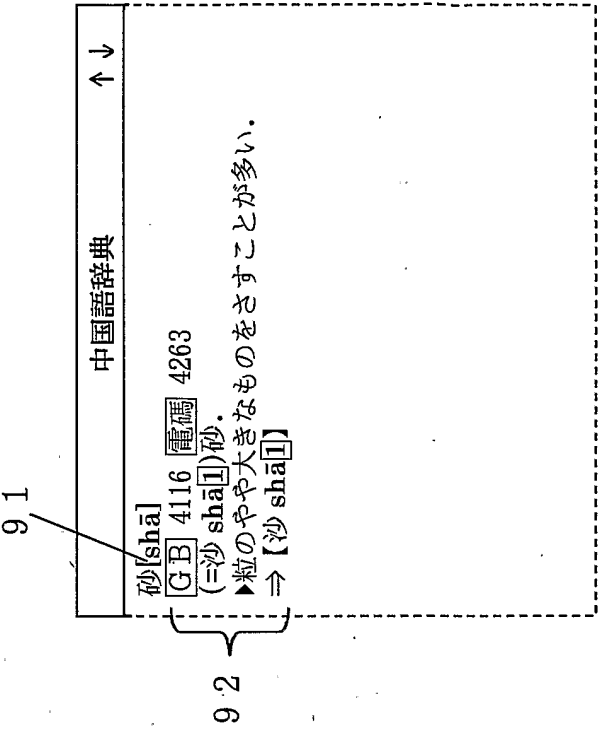
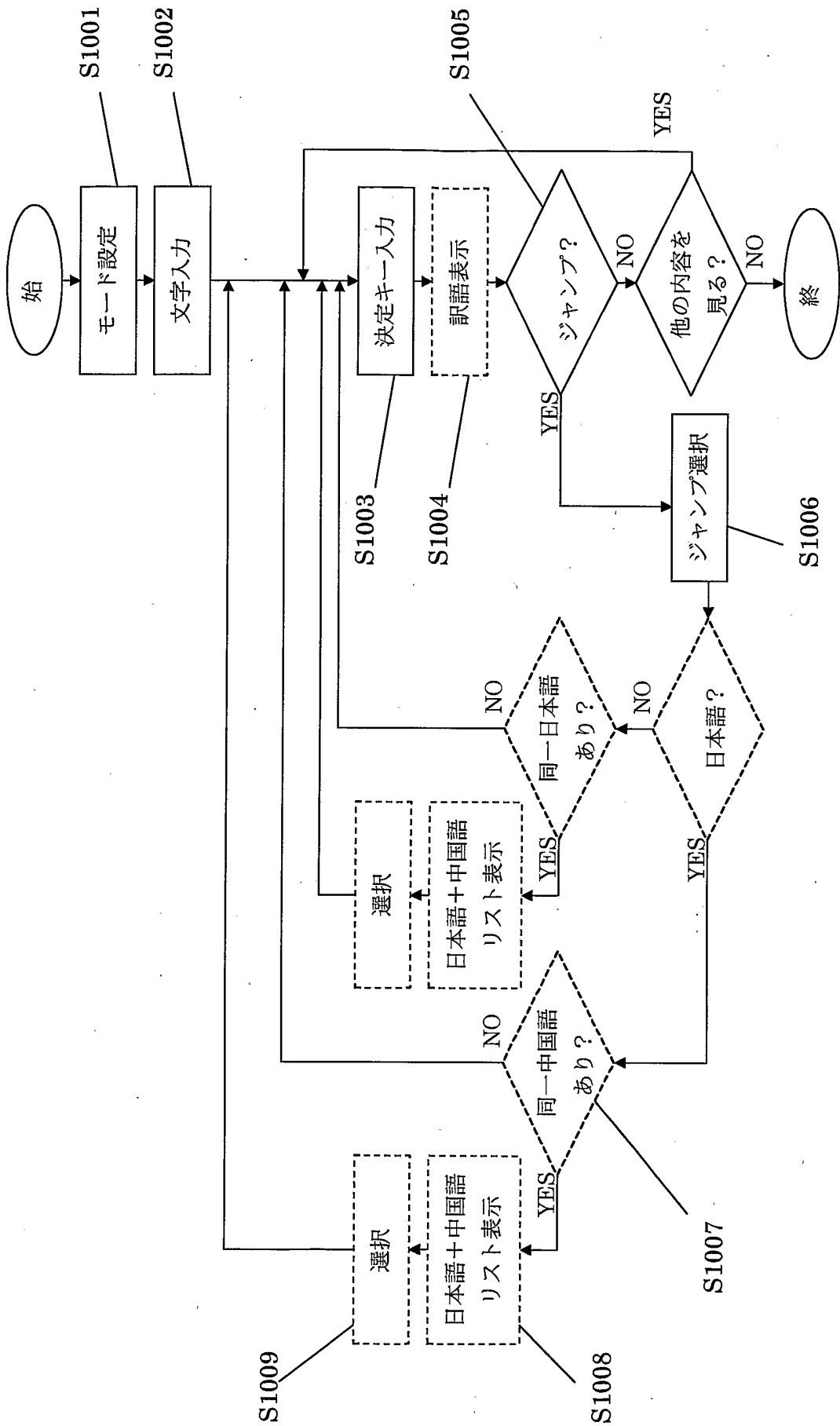


図 10



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/006573

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl.⁷ G06F17/30, G06F17/21, G06F17/28

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl.⁷ G06F17/30, G06F17/21, G06F17/28

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2004

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2004 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

JSTPlus (JOIS), WPI, INSPEC (DIALOG)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2003-132065 A (Sharp Corp.), 09 May, 2003 (09.05.03), Par. Nos. [0005], [0021]; Figs. 3, 5(c) (Family: none)	1, 2
Y	JP 11-328160 A (Toshiba Corp.), 30 November, 1999 (30.11.99), Par. Nos. [0028] to [0031]; Figs. 12 to 15 (Family: none)	1, 2

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
10 June, 2004 (10.06.04)Date of mailing of the international search report
29 June, 2004 (29.06.04)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/30, G06F17/21, G06F17/28

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ G06F17/30, G06F17/21, G06F17/28

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年
 日本国公開実用新案公報 1971-2004年
 日本国登録実用新案公報 1994-2004年
 日本国実用新案登録公報 1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

JSTPlus (JOIS), WPI, INSPEC (DIALOG)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	J P 2003-132065 A (シャープ株式会社) 2003.05.09, 第5段落, 第21段落, 第3図, 第5図(c) (ファミリーなし)	1, 2
Y	J P 11-328160 A (株式会社東芝) 1999.11.30, 第28段落-第31段落, 第12図-第15図 (ファミリーなし)	1, 2

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

10.06.2004

国際調査報告の発送日

29.6.2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)
 郵便番号 100-8915
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

高瀬 勤

5M

3364

電話番号 03-3581-1101 内線 3597